

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの検討結果

1. 知床エコツーリズム戦略(案)の特徴

○地域主導を重視した目的

- ・遺産地域におけるエコツーリズムを含む観光利用の推進により、自然環境を保全しその価値を向上しながら知床らしい良質な体験を提供し、あわせて持続可能な地域社会と経済の構築を図るため、遺産地域の全ての関係者が、共通の将来目標と、その目標を地域主導で達成するための方法を共有することを知床エコツーリズム戦略（以下、「戦略」）の目的とした。

○新たな検討の枠組み

- ・地域主導の取組を推進するため、誰でも新しい観光利用やルール等に関する提案ができる体制とし、提案内容が各種法律等や戦略の内容に即しているかを適正利用・エコツーリズム検討会議（以下、「検討会議」）で議論することとした。また、行政機関や地域関係団体は検討会議での決定を尊重し、支援することとした。

○判断基準の設定

- ・提案内容について判断するための基準として、戦略の基本方針として、「基本原則」と「エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点」を定めた。また、提案を実現させるための手段として「具体的方策」を記載した。

2. 今後の主な予定

○平成24年3月13日 第2回検討会議

→検討会議で戦略(案)に合意する予定。

○平成24年度

→戦略(案)に基づき、戦略を試行的に実施する。

→並行してパブリックコメント等の実施を行い、戦略を広報・公聴することを想定。

→上記2点を踏まえ、戦略を最終的に決定する。

3. これまでの検討経緯

○平成22年度

第1回検討会議(6/22) : 戦略の策定について事務局より提案

第2回検討会議(11/8) : 戦略の目的や策定手順等について検討

第1回起草部会(12/17) : 戦略の内容に関する意見交換

第2回起草部会(2/9) : 戦略骨子案の検討

第3回検討会議(3/10) : 戦略骨子案の提示

○平成23年度

第1回検討会議(6/17) : 戦略素案の提示、地域関係団体等から意見・文章案の募集

第1回起草部会(10/4) : 提出のあった意見・文章案の分類と整理

第2回起草部会(12/13) : 意見・文章案も踏まえた戦略案の提示